



さび浸透形特殊変性エポキシ樹脂塗料 鋼構造用さび止めペイント

さびコート



下塗



神 東 塗 料

鋼構造物の塗替え塗装には、旧塗膜の種類やさびの発生状態、素地調整方法（ケレン）の制約、塗装方法などさまざまな条件があるため、これらの条件に適性のある塗料を選択する必要があります。「さびコート」は旧塗膜適性や悪素地適性に優れるため、十分なケレンが確保できない塗替え塗装において、優れた性能を発揮するオールマイティプライマーです。

旧塗膜適性に優れています。

アルキド系、エポキシ系、ポリウレタン系などの旧塗膜に対して幅広い塗重ね適性があります。

悪素地適性に優れています。

さび面に対する浸透性によって、さびの進行を抑制します。動力工具が使用できない塗替え塗装で手工具処理 (ISO PSt3) においても、優れた防錆性を発揮します。

塗装作業性に優れています。

エアレススプレー、はけ塗り、ローラー塗りのいずれの塗装方法においても良好な作業性です。

上塗り適合性に優れています。

上塗りにアルキド、エポキシ、ポリウレタンなどの上塗り塗料を塗重ねることができるため、用途に応じた仕上げが可能です。

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

鉛やクロム等有害な重金属を含まない
グリーン購入法対応品です。

用 途 一般鉄骨・プラント設備・鋼製煙突・
鋼製タンクなど鋼構造物塗替え塗装

商品構成

商品名	荷 姿	基 剤	硬 化 剤	混合比	色 相
さびコート	20kgセット	16kg	4kg (一般用・冬期用)*	基 剤：硬化剤 80:20	白 ブラウン ライトグレー
	5kgセット	4kg	1kg (一般用・冬期用)*		
二液形ネオゴーセーシンナー	16L・4L				

※低温時には冬期用硬化剤をご使用ください。

社内規格

品 質

項 目	規 格		結 果	
塗膜中の鉛の定量 (質量分率%)	0.06以下		合 格	
塗膜中のクロムの定量 (質量分率%)	0.03以下		合 格	
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になる		合 格	
塗装作業性	吹付け塗りで塗装作業に支障がない		合 格	
乾燥時間 (h)	23℃	5℃	-	
	16以下	24以下	合 格	合 格
ポットライフ	5時間で使用できる	5時間で使用できる	合 格	合 格
たるみ性	隙間幅200μmでたるみがない		合 格	
塗膜の外観	正常である		合 格	
上塗り適合性	支障がない		合 格	
耐おもり落下性 (デュボン式)	500mmの高さから300gのおもりを落としたときの衝撃によって、塗膜に割れ及びはがれが生じない		合 格	
耐熱性	160℃で30分加熱しても、外観が正常である。 試験後の付着性試験で分類2、分類1又は分類0である		合 格	
付着性	分類1又は分類0		合 格	
サイクル腐食性	120サイクルの試験でさび、膨れ、割れ及びはがれがない		合 格	
屋外暴露耐候性	24ヶ月の試験でさび、割れ、はがれ及び膨れがない		合 格	

標準塗装

▶ 標準塗装仕様Ⅰ [塗替え塗装一般外面:アルキド仕上げ]

工 程	素地調整・塗料名	標準膜厚 (μm)	塗装方法	標準使用量 (g/m ²)	希釈率 (wt%)	塗装間隔 (20℃)	塗装 区分
素地調整	3種ケレン(ISO P St3)以上						現 地
補 修* (下 塗)	さびコート	(60)	は け ローラー	(190)	二液形ネオゴーサーシンナー 5~10%	6時間以内	
第 1 層 (下 塗)	さびコート	60	は け ローラー	190	二液形ネオゴーサーシンナー 5~10%	1日~30日	
第 2 層 (中 塗)	SPマリンペイント中塗	30	は け ローラー	120	塗料用シンナー A 5~10%	1日~7日	
第 3 層 (上 塗)	SPマリンAライト	25	は け ローラー	110	塗料用シンナー A 5~10%	1日~10日	

※補修は、鋼材露出部に適用します。

▶ 標準塗装仕様Ⅱ [塗替え塗装一般外面:ポリウレタン仕上げ]

工 程	素地調整・塗料名	標準膜厚 (μm)	塗装方法	標準使用量 (g/m ²)	希釈率 (wt%)	塗装間隔 (20℃)	塗装 区分
素地調整	3種ケレン(ISO P St3)以上						現 地
補 修* (下 塗)	さびコート	(60)	は け ローラー	(190)	二液形ネオゴーサーシンナー 5~10%	6時間以内	
第 1 層 (下 塗)	さびコート	60	は け ローラー	190	二液形ネオゴーサーシンナー 5~10%	1日~30日	
第 2 層 (中 塗)	NYポリンK中塗	30	は け ローラー	140	二液形ネオゴーサーシンナー 5~10%	1日~30日	
第 3 層 (上 塗)	NYポリンK上塗	25	は け ローラー	120	NYポリンK上塗用シンナー 5~10%	1日~10日	

※補修は、鋼材露出部に適用します。

▶ 標準塗装仕様Ⅲ [ポリウレタン仕上げ省工程形]

工 程	素地調整・塗料名	標準膜厚 (μm)	塗装方法	標準使用量 (g/m ²)	希釈率 (wt%)	塗装間隔 (20℃)	塗装 区分
素地調整	3種ケレン(ISO P St3)以上						現 地
補 修* (下 塗)	さびコート	(60)	は け ローラー	(190)	二液形ネオゴーサーシンナー 5~10%	6時間以内	
第 1 層 (中 塗)	さびコート	60	は け ローラー	190	二液形ネオゴーサーシンナー 5~10%	1日~30日	
第 2 層 (上 塗)	NYポリンK上塗HB	50	は け ローラー	160	NYポリンK上塗用シンナー 5~10%	1日~7日	

※補修は、鋼材露出部に適用します。

塗重ね適性

塗料種 種 別	旧塗膜にさびコートを塗る	さびコートの上に塗重ねる
アルキド樹脂塗料	○ ※1	○ ※2
塩化ゴム系塗料	×	○ ※2
アクリル系塗料	×	×
エポキシ系塗料	○	○
変性エポキシ塗料	○	○
ポリウレタン系塗料	○	○ ※2
ふっ素系塗料	○	○ ※2

※1: 旧塗膜が塗装後1年以上経過していること。 ※2: 上塗り塗装までの塗重ね間隔7日以内(気温20℃)を厳守すること。

“さび”の進行抑制を下記試験で評価しました。

素地状態	さびコート	市販品変性エポキシA	市販品変性エポキシB	《試験条件》 1.試験板 さび板⇒ワイヤーブラシ処理(ISO-St2) 2.塗装 ①補修:変性エポキシ(60μm) (さびコート・市販品変性エポキシ樹脂塗料) ②下塗:変性エポキシ(60μm) ③中塗:ポリウレタン樹脂塗料用中塗(30μm) ④上塗:ポリウレタン樹脂塗料上塗(25μm) 3.促進防食試験 サイクル腐食試験 JIS D法 3000時間
素地調整前				
素地調整後	▶ ×は人為的に素地に達する傷を入れて、さびの進行抑制を評価しています。 ▶ さびコートは、さび残存面に対して優れた防錆性を発揮します。			

データガイド

品 名		さびコート				
概 要	塗料のタイプ		特殊変性エポキシ樹脂塗料			
	色 相		白・ライトグレー・ブラウン			
	容 量		セット	基剤	硬化剤	
			5kg	4kg	1kg	
			20kg	16kg	4kg	
混合比(基剤:硬化剤)		80:20(重量比)				
適正塗装方法		スプレー・はけ・ローラー				
標準仕様	スプレー仕様	120μm-490g/m ²				
	は け 仕 様	60μm-190g/m ²				
塗装環境条件		温度 5〜40℃ 湿度85%以下				
塗装適正粘度 (はけ・ローラー)		5〜10dPa・s(リオン粘度計)				
希釈シンナー		二液形ネオゴーゼーシンナー				
		5℃	10℃	20℃	30℃	
使用可能時間		(7)時間	12(5)時間	9(3)時間	7時間	
塗 装 案 内 乾 燥 時 間	指触	(4)時間	4(3)時間	4(3)時間	2時間	
	歩行可能	(2)日	1(1)日	1(1)日	1日	
	完全硬化	(7)日	10(7)日	7(5)日	5日	
塗重ね 間 隔	Min	(2)日	1(1)日	1(1)日	1日	
	Max	(同種)	30日	30日	30日	30日
		(異種)	7日	7日	7日	5日
		注1: 塗重ね間隔において、別途、基準が定められている場合は基準を遵守してください。				
適 正 希 釈 率	エアレス	5〜15%	5〜10%	5〜10%	0〜5%	
	はけ・ローラー	5〜15%	5〜10%	5〜10%	0〜5%	
		注2: 上記()内の値は冬期用硬化剤使用時のデータを示します。				

※上記データは標準値で示しています。

取り扱いに関する一般的注意事項

■ 調合

1. 塗料開缶は原則として使用する直前にいき、開缶したものはその日のうちに使用するよう心がけてください。
2. 塗料は使用する前に十分攪拌を行い、均一な状態にして使用してください。
3. 混合する際は、必ず基剤・硬化剤の比率を守り計量混合してください。また、混合後は直ちに塗装してください。
4. 他品種、他品名の塗料との混合は厳禁です。
5. 希釈用シンナーは弊社指定のシンナーを用いて、希釈量は、規定量内でご使用ください。
6. さげ缶に小分けするときは、十分に攪拌したものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを使ってください。

■ 塗装

1. 気温5℃以下、湿度85%以上のときは塗装禁止です。低温時には乾燥遅延となり高湿度では付着不良や塗膜外観不良が生じやすくなります。
2. 被塗面に結露がある場合や塗装後短時間で降雨、結露が予測される場合の塗装は避けてください。
3. 被塗物の表面温度が50℃以上の場合、塗装を避けてください。
4. 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
5. 塗装時および塗料取り扱い時は火気厳禁としてください。
6. 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないように注意してください。
7. 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
8. 塗装器具の洗浄には二液形ネオゴーゼーシンナーまたはラッカーシンナーをご使用ください。

■ 緊急時の対応

1. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、清浄な空気の中で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
4. 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた場合は布でふき取り、その布は水に浸した状態で容器に保管してください。
6. 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

■ 廃棄

1. 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

■ 保管

1. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
2. 子供の手の届かない場所に保管してください。
3. 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
4. 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。

※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。

※ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。



製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199
東北 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813
東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553
静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091

北 陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315
名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318
大 阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268
中 国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821

四 国 ☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108
九 州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777

<https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。

このパンフレットは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。



TS0222AT-7